

# 被災地みなさんと私たちはいつまでも仲間です

## 陸前高田市 法量・地竹沢地区と北陸ダンフ 心の絆で結ぶ交流会 6月26～28日



餅つきで現地の方々と交流する辻委員長（右から2人目）と山田信二副委員長（左から2人目）

### 一緒に準備し、きずな深める

#### 《辻猛委員長の話》

陸前高田に来ると、皆さんの温かい歓迎に、ふるさとに帰ってきた気持ちになります。これまでのボランティアはすべて私たちが準備してきましたが、今回は、お互いの絆を深めるために被災地みなさんと一緒に準備をしたいと考えました。事前に、お米を送り、餅つきの段取りはすべてやってもらいました。一緒にやることできずなが深まり、仲間になります。こういう付き合いをずっと続けたいと思っています。

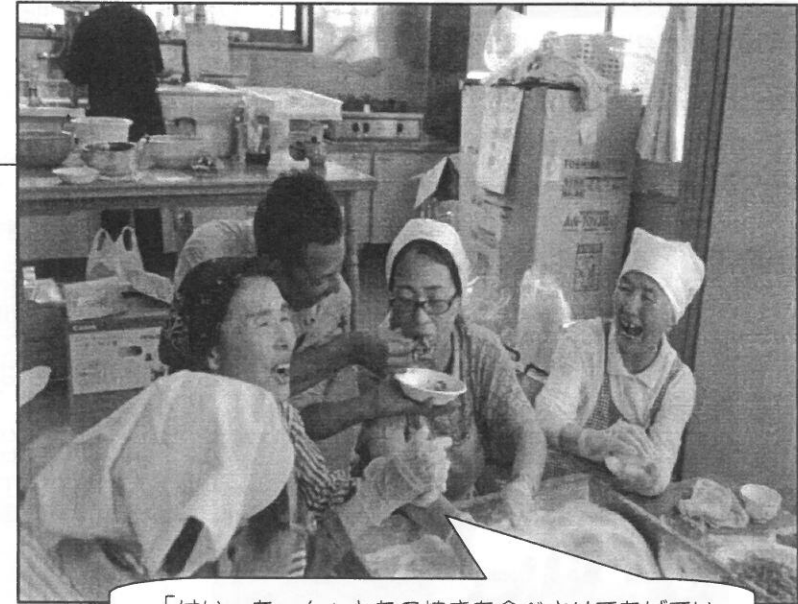
みなさんが協力して、あっという間にテントが設営されました。



雨の中、てきぱき作業に取り掛かる

6月26日の夜に福井を出発し、陸前高田市・地竹沢自治会館に着いたのは27日午前8時頃でした。当日はあいにくの雨でしたが、ボランティアに参加されたみなさんは、移動の疲れをものともせず、てきぱきと作業に取り掛かりました。

男性の方を中心に、雨の中、テントの設営や屋台の機材の準備、女性の方たちは、現地の方々と一緒に会館内で「屋台まつり」の食材の準備を担当しました。また、現地の方々は、朝早くから餅つきの段取りをして、私たちの到着を歓迎してくれました。



「はい、あ〜ん」とたこ焼きを食べさせてあげている山田満書記次長。みなさんの笑顔がはじけました。

1年8か月ぶりとなる今回（15回目）の災害復旧ボランティアには、組合員とその家族など32人が参加しました。生活必需品などの支援物資をダンフカーに積み、マイクロバス2台で陸前高田に向かいました。現地では、焼きそばやたこ焼き、綿菓子などの屋台を出したり、餅つきなどをして被災地みなさんと交流しました。また、夜の交流会には約90人が参加し、再会を喜び合いました。

### 元世界チャンピオンも

#### 現地の方々と交流

今回は、元WBAスーパーフライ級チャンピオンで、福井県議会議員の清水智信さんが参加されました。参加者のみなさんに交じってテントの設営をしたり、地元の竹駒保育園を訪問して園児たちとも交流しました。チャンピオンベルトも持参されて見せてくれたり、地元の方に簡単なスパリングを指導してくれたほか、シャドーボクシングも披露してくれました。

清水さんは「震災があったとき、ボクシングの世界戦の直前でした。その時、本当にボクシングをできていたのかと悩みました。それ以来、ずっと被災地に来たいと思い続けていました。今回は、県議としてではなく、元世界チャンピオンとして、子どもたちと楽しく交流できればと思って来ました」と語ってくれました。



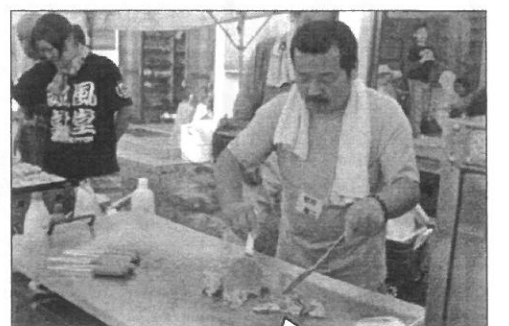
みんなでたこ焼きを焼いていますが、途中で、ビールのおつまみになることも...



勝山市から参加された女性の方で流しそうめんを準備してくれました。とてもおいしいと好評でした。



子どもたちが自分で綿菓子を作っています。



松田さんの焼きそばを焼く姿がとても似合っていました。

一人はみんなのために みんなは一人のために

# ダンフの仲間

全労連・全日本建設交通一般労働組合

石川県本部北陸ダンフ支部

金沢市木越町七七・二

TEL (076) 257-4885

FAX (076) 257-4886

(☎236 2015.7.23 発行)